
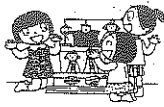


5年 組 名前( ) 保護者サイン

教科		学習内容	チェック
国語①	今回の学習	『わらぐつの中の神様』	
	今回の宿題	音読、日記、ドリルの王様④1p.77-78	
	次回の学習	『わらぐつの中の神様』	
国語②	今回の学習	学年末テストなおし	
	今回の宿題	漢字ノートに漢字テストの答えを3回以上書く、ドリルの王様④0p.75	
	次回の学習	5年生のまとめ	
算数	今回の学習	分数のかけ算とわり算(p.100-101)	
	今回の宿題	ドリルp.46-47	
	次回の学習	角柱と円柱(p.102-106)	
理科	今回の学習	ふりこの動く様子(教科書p.150-153)	
	今回の宿題	ドリルの王様(p.67)	
	次回の学習	ふりこの1往復する時間(教科書p.154-157)	
社会	今回の学習	わたしたちの生活とかんきょう(p.108-113)	
	今回の宿題	ドリルの王様④0p.81-82	
	次回の学習	わたしたちの生活とかんきょう(p.114-119)	
行事など	3月12日 2015年度6,9年生卒業式 3月19日 2015年度修了式		

音読表	◎最高 ○いいね △もう少し ×がんばって	日	月	火	水	木	金	読んだ本の題名(何さつでも)	
	気持ちをこめて読めた								
	大きな声で読めた								
	ゆっくり、はっきり読めた								
	聞いてくれた人のサイン (おうちの人、友達)								

その他	・2016年度選たく授業希望調査用紙は、 <u>2月27日</u> までに提出してください。 ・補習校で本を借りた人は、 <u>3月19日</u> までに返さしてください。	保護者より
		

## 今週の読み物

福沢諭吉のものがたり②…… それらの店を、諭吉はめずらしそうに、きよろきよろとみまわしながら、あるいているうちに、「はてな。」と、首をひねりました。どの店のかんばんをながめても、店さきにならんでいるしなものをみても、かいてあることばが、さっぱりよめないではありませんか。外国人どうしがはなしていることばも、諭吉のとくいなオランダ語とはちがっているようで、なにがなにやら、すこしおいみがわかりません。さんざんあるきまわったすえ、ある一軒の店によって、オランダ語ではなしかけてみました。すると、店の主人はドイツ人でしたが、さいわい、オランダ語のわかる人でした。諭吉の発音がわるいので、うまくつうじませんが、紙にかけばわかるというので、諭吉がかいてみせると、「おお、あなたは、オランダ語、なかなかうまいことあるね。でも、ここでは、まったく役にたたない。英語でなければだめ。みんな、英語しゃべっている。かんばんも、なにもかも英語ばかりね。」と、店の主人からいわれました。「そうか、英語でなければだめか。」と、諭吉はかんがえこんでしまいました。店の主人がすすめたオランダ語と英語との会話の本など、二、三さつを買うと、諭吉は、おもい足をひきずって、江戸へかえってきました。

ちょうど夜中の十二時ちかくでしたから、まるまる二十四時間、諭吉はあるいていたわけで、へとへとにつかれきっていました。けれども、それは、あるきつかれたからだけではありません。五、六年もかかって、いっしょうけんめい勉強したオランダ語が、なんの役にもたたないことを、じっさいにして、がっかりさせられたからでした。

「なんというばかなことをしたものだ。」と、諭吉はなきたいくらいでしたが、でも、くよくよしていてもはじまらぬ。よし、こんどは英語の勉強をするんだ。」諭吉は、そのつぎの日から、英語の勉強にとりかかりました。とはいっても、いったい、どこで、だれに英語をおそわったらいいのか、さっぱりけんとうがつきません。そのころの江戸には、英語をおしえてくれる先生など、<sup>ひとり</sup>一人もいませんでした。でも諭吉は、あきらめないで、あちこちたずねているうちに、耳よりな話をききました。それ

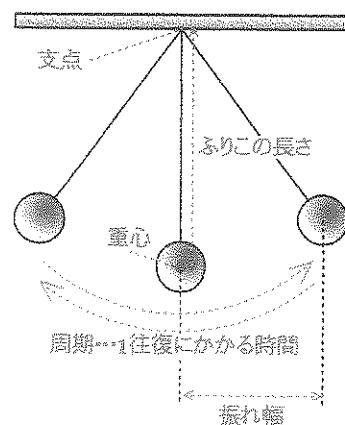
ながさき もりやまたきちろう えど ばくふ よう  
は、長崎でつうやくをしている森山多吉郎という人が、いま江戸にきて、幕府のご用をつとめているが、英語ができるといううわさをきいたのです。

1. 糸におもりをつけ、おもりを横に引いて放すと、おもりは行ったりきたりを繰り返す。これを「ふりこ」という。  
ブランコはふりこの動きをりようした遊具である。ブランコなどで遊んだときの体験について、気がついたことを書こう。

・  
・  
・  
・

## 2. ふりこについて確認しておこう。

- (1) ふりこがふれるときのふれのキヨリを ( ) という。
- (2) (1) のふれのキヨリは、( ) を通るたての線と、最大にふれたときのおもりの ( ) を通る線までをいう。
- (3) ふりこが動きだしてから、元の位置にもどるまでの1往復するのにかかる時間を ( ) という。



## 3. ふりこの動きを調べよう。(教科書 p.151)

ふりこを動かして気がついたことを書こう。

・  
・  
・

## 4. ふりこの1往復する時間 (教科書 p.152)

おもりの種類がちがっても、ふりこはどれも左右にゆれ続けるが、1往復する時間がちがう。

ふりこの1往復する時間は、何によって変わるだろうか？

<予想しよう> ふりこによって、1往復する時間がちがっていたのはなぜだろう？

ふりこの1往復する時間がちがった原因を予想しよう。

- ・ふりこの長さのちがいだろうか？
- ・おもりの重さのちがいだろうか？
- ・ふれはばのきよりのちがいだろうか？

これらのどれが原因か調べていこう。

## 5. 計画を立てよう。(教科書 p.153)

変える条件と、変えない条件を整えて表をつくり、実験の方法を考えよう。

(1) ふりこの長さのちがいが原因とするならば、どのように調べればよいだろう？

・変える条件：

・変えない条件：

(2) おもりの重さのちがいが原因とするならば、どのように調べればよいだろう？

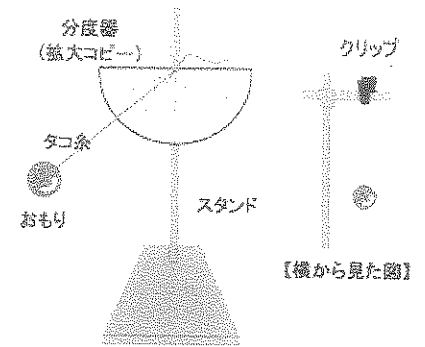
・変える条件：

・変えない条件：

(3) ふれはばのちがいが原因とするならば、どのように調べればよいだろう？

・変える条件：

・変えない条件：



## 6. 1 往復する時間の調べ方 (教科書 p.153)

★ はかりかたのわずかなちがいなどで、同じ結果にならないことが多い。そこで平均を出して調べる。

・ステップ 1： 10 往復する時間を 3 回はかってそれを合計する。

$$\boxed{1 \text{ 回目の時間 (秒)}} + \boxed{2 \text{ 回目の時 ((秒)}} + \boxed{3 \text{ 回目の時間 (秒)}} = \boxed{10 \text{ 往復する時間の合計(秒)}}$$

・ステップ 2： 10 往復する時間の平均を求める。

$$\boxed{10 \text{ 往復する時間の合計 (秒)}} \div 3 = \boxed{10 \text{ 往復する時間の平均 (秒)}}$$

・ステップ 3： 1 往復する時間を求める。

$$\boxed{10 \text{ 往復する時間の平均 (秒)}} \div 10 = \boxed{1 \text{ 往復する時間 (秒)}}$$

### 教科書のまとめ

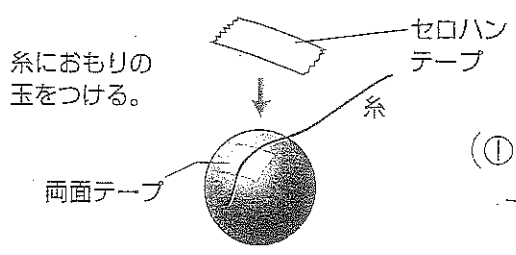
( )にあてはまることばを書いてまとめよう。 答え→15ページ

★ **1** ふりこを作って動かしてみよう。

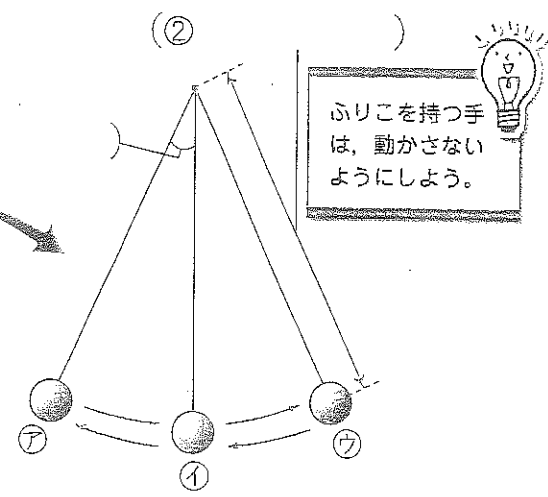
ふりこ

- ( ) ふりこは磁石の力を利用しているよ。
- ( ) プランコもふりこだね。じょうぶな糸とおもりでつくるよ。

C教科書  
②  
60  
61  
62  
ページ



①



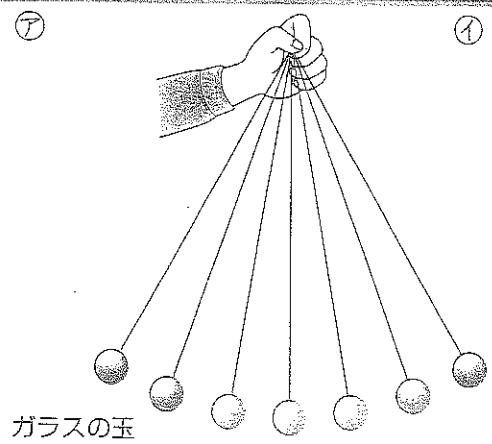
糸につるしたおもりをふらせると、左右に動き続ける。これを (3) という。  
右の図で、おもりがア→イ→ウ→イ→アと動く時間が、ふりこが (4) する時間である。

★ **2** 作ったふりこはどれも同じように動くのだろうか。

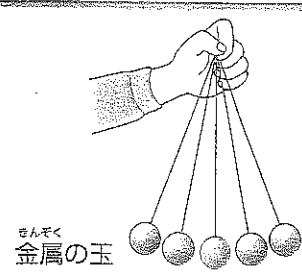
ふりこ

- ( ) どれも同じように左右に動くよ。
- ( ) ふりこによって、動きがちがうよ。

C教科書  
②  
61  
62  
ページ



ガラスの玉



金属の玉

⑦と⑧のふりこのちがいは、何だろう。①～③にちがいを書こう。

	① ( )	② ( )	③ ( )
⑦のふりこ	ガラスの玉	長い	30°
⑧のふりこ	金属の玉	短い	15°

ふりこが1往復する時間は、ふりこによってちがう。  
ふりこが1往復する時間がちがっている原因として、(4) (5) (6) が考えられる。

### だいじなまとめ

ふりこが1往復する時間は、ふりこによってちがう。

### なぜってかくにん! 大切な言葉

ふりこ おもりの中心から 1往復 ふりこの長さ ふれはば



ふりこの長さやふれはばをはかるときには、おもりの中心からはかすることに注意しよう。1往復する時間を計算する方法を理解しておこう。

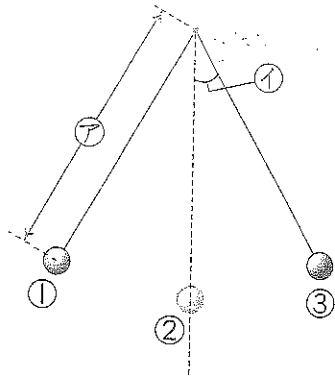
# 教科書のトレーニング

問題を解いてみよう!

答え 15 ページ

**1** 下の図のように、糸におもりをつけてふらせたなら、おもりは左右に動き続けた。次の問いに答えよう。

教科書 260~61 ページ

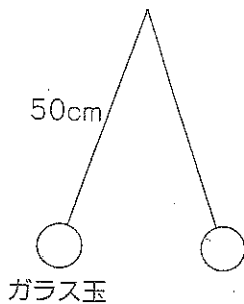


- (1) これを何というか。  
( )
- (2) アの長さを何というか。  
( )
- (3) ①の大きさを何というか。  
( )
- (4) ふりが1往復するのは、おもりがどのように動くことをいうか。①から順に番号をならべよう。  
(①→ )
- (5) いろいろ条件を変えて作ったところ、1往復する時間はちがった。その原因として、アの長さとおりの大きさのほかに、何が考えられるか。  
( )

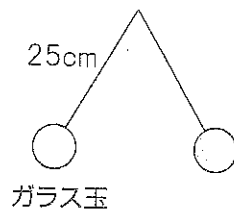
**2** 1ばんから4はんまでのグループで、下の図のようなふりこを作り、1往復の時間をくらべた。次の問いに答えよう。

教科書 262 ページ

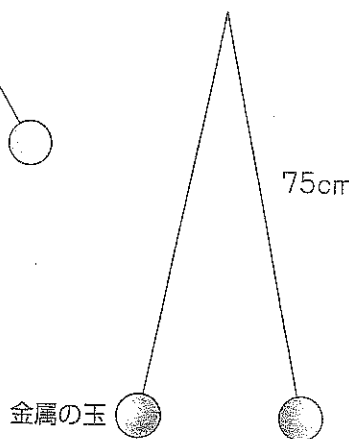
1ばん



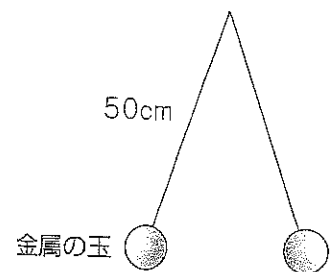
2はん



3ばん



4はん



- (1) 1ばんと2はんでは、何がちがうか。すべて答えよう。  
( )
- (2) 1ばんと3はんでは、何がちがうか。すべて答えよう。  
( )
- (3) 1ばんと4はんでは、何がちがうか。すべて答えよう。  
( )
- (4) 1往復の時間をくらべるには、何はんと何はんのふりこをくらべればよいか。  
( ) と ( )



86~87 ページ

単元のテスト

- 1 (1)③に○  
 (2)②に○
- 2 (1)メスシリンダー  
 (2)57mL  
 (3)②に○  
 (4)①ろ紙を水でぬらす。 ②㊦ ③㊧に○
- 3 (1)60g  
 (2)㊦  
 (3)㊦(と)㊧

**とびき** ①水の温度が高くなると、とける量が大きくふえるホウ酸の水よう液は、冷やすと、とけきれなくなったホウ酸のつぶがたくさん出てくる。これに対して、水の温度が高くなっても、とける量あまりふえない食塩の水よう液は、冷やしても、食塩のつぶはほとんど出てこない。

②2水面のへこんだところの面と重なっている目もりを読みとる。

③ホウ酸のとける量は、水の温度が高くなるほど、多くなる。

④②ホウ酸が多くとけている水よう液ほど、冷やしたときに、ホウ酸のつぶが多く出てくる。

⑤水の量が同じで、水の温度が同じなら、とけているものの量は同じである。

⑥(1)50mLの重さは50gであるから、 $50 + 10 = 60(g)$

(2), (3)水の量を2倍, 3倍, ...にすると, もののとける量も2倍, 3倍, ...になる。このことから, ㊦, ㊧にとかした食塩の量を, 水50mLあたりになおして考えると, ㊦は,  $20 \div (100 \div 50) = 10(g)$ で, ㊧は,  $40 \div (400 \div 50) = 5(g)$ になる。

**読みとりポイント** ③食塩は温度によって水にとける量があまり変わらない。よって、食塩をたくさんとくためには、水をふやせばよい。また、食塩水から食塩をとり出すには、温度を下げるのではなく、水をじょう発させることが必要である。

88 ページ

教科書のまどめ

- ★ **とびき** ㊦に○  
 ①ふれはば ②ふりこの長さ ③ふりこ  
 ④1往復
- ★ **とびき** ㊦に○  
 ①おもり ②ふりこの長さ ③ふれはば  
 ④おもりの重さ ⑤ふりこの長さ ⑥ふれはば

89 ページ

教科書のドレーミング

- ① (1)ふりこ  
 (2)ふりこの長さ  
 (3)ふれはば  
 (4)①→②→③→②→①  
 (5)おもりの重さ
- ② (1)ふりこの長さ, ふれはば  
 (2)ふりこの長さ, ふれはば, おもりの重さ  
 (3)おもりの重さ  
 (4)1ばんと4はん
- とびき** ④(4)ふりこが1往復するのは, ①から出発して①にもどってくる順番の動きである。  
 ③(4)ふりこが1往復する時間をはかるときには, ちがう条件をひとつにしておく必要がある。

90 ページ

教科書のまどめ

- ★ **とびき** ㊦に○  
 ①10 ②5 ③10
- ★ **とびき** ㊦に○  
 ①ふれはば ②長さ ③重さ ④20.5  
 ⑤2.05 ⑥20.5 ⑦2.05 ⑧同じ

91 ページ

教科書のドレーミング

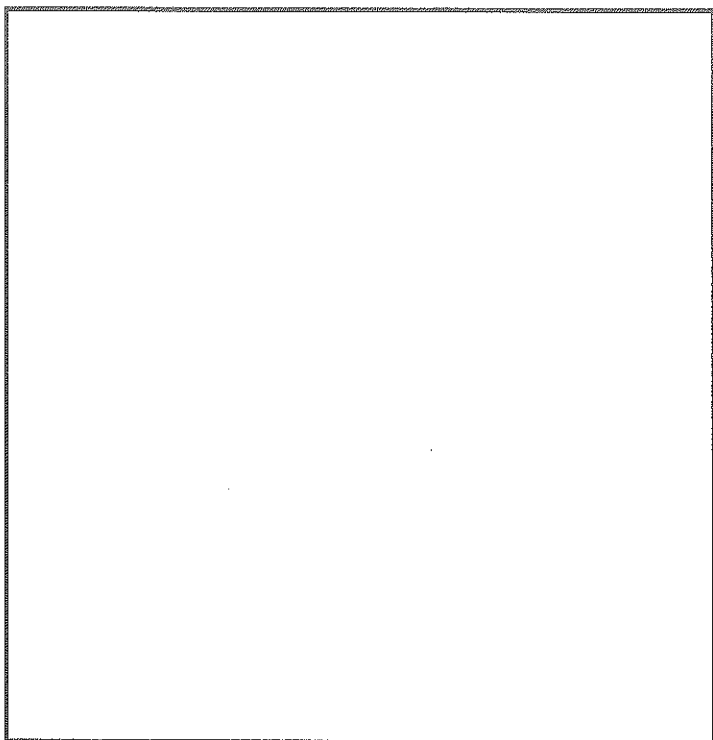
- ① (1)③に○  
 (2)①に○
- ② (1)ふりこの長さ(糸の長さ)・おもりの重さ  
 (2)③に○
- とびき** ①ふりこが1往復する時間はとても短いので, 1往復する時間をそのままはかっても, 正かくな値は得られない。  
 ③(2)ふりこが1往復する時間は, ふれはばに関係しない。

① 語句チェック(教科書108～113ページ)

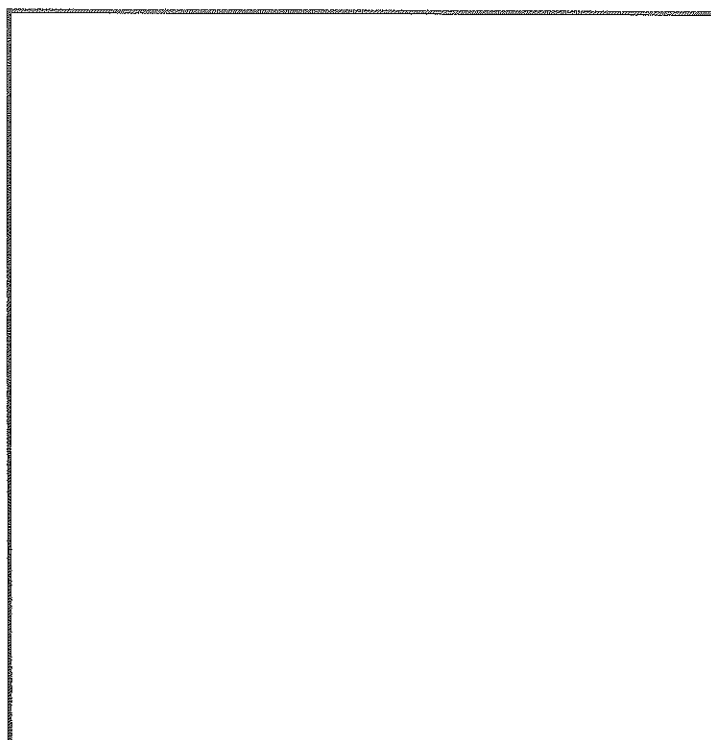
1	木材	
2	囲む	
3	成長	
4	生長	
5	北山丸太生産組合	
6	大量生産	
7	味わい	
8	人手	
9	林業	
10	森林管理局	
11	欠かせない	
12	動植物	
13	間ばつ	
14	未来	
15	家具	
16	植林	



② <sup>じんこうりん</sup>人工林と<sup>てんねんりん</sup>天然林の<sup>え</sup>絵をかこう。



<sup>じんこうりん</sup>  
人工林



<sup>てんねんりん</sup>  
天然林

③ まとめ

・<sup>きょうとし</sup>京都市では、( )という<sup>でんとうてき</sup>伝統的な<sup>もくざい</sup>木材を<sup>せいさん</sup>生産している。( )  
<sup>ぎょう</sup>業に<sup>じゅうじ</sup>従事する<sup>ひとびと</sup>人々は、<sup>なんねん</sup>何年もかけて<sup>き</sup>木を<sup>そだ</sup>育てている。<sup>じんこうりん</sup>人工林は<sup>しんりんしげん</sup>森林資  
<sup>もくざい</sup>源として<sup>かつよう</sup>木材に<sup>さいきん</sup>活用されてきたが、<sup>さいきん</sup>最近では<sup>もくざい</sup>木材の<sup>おお</sup>多くが( )から  
<sup>ゆにゆう</sup>輸入されている。

・<sup>しんりん</sup>森林はわたしたちの<sup>いのち</sup>命や<sup>ざいさん</sup>財産を<sup>まも</sup>守ったり、<sup>き</sup>木や( )を<sup>つか</sup>使った<sup>せいひん</sup>製品に  
なったりして<sup>せいかつ</sup>生活を<sup>ささ</sup>支えている。

④ <sup>きょうかしよ</sup>教科書113ページの<sup>しんりんしんぶん</sup>森林新聞を<sup>よ</sup>読んで、<sup>しゃせつ</sup>社説( <sup>かんが</sup>考えたこと)を<sup>か</sup>書こう。

Blank writing area with horizontal lines for the student's response to question 4.

西大和学園補習校五年  
漢字テスト解答例

名前

33

2月20日  
配布  
2月27日  
テスト

次の漢字を使って、文を一つ作りましょう。

①

貸

かす

貸し切りバスで、旅行に行く。

②

賛

サン

賛成多数で、可決された。

③

防

ボウ、ふせぐ

消防士の仕事について調べる。

④

罪

ザイ、つみ

罪悪感にさいなまれる。

⑤

険

ケン、けわしい

険しい山道を進む。

⑥

敵

テキ

決勝の相手は強敵だ。

⑦

弁

ベン

母は毎日弁当を作ってくれる。

⑧

技

ギ

すもうは、日本の国技だ。

⑨

布

フ、ぬの

気に入った布地で、洋服を仕立てる。

⑩

減

ゲン、へる

近年、森林の減少が進んでいる。

西大和学園補習校五年  
漢字テスト練習

名前

33

2月20日  
配布  
2月27日  
テスト

次の漢字を使って、文を一つ作りましょう。

① 貸

かす

② 贅

サン

③ 防

ホウ、ふせぐ

④ 罪

ザイ、つみ

⑤ 険

ケン、けわしい

⑥ 敵

テキ

⑦ 弁

ベン

⑧ 技

ギ

⑨ 布

フ、ぬの

⑩ 減

ゲン、へる

読み

書き



# 二学期の漢字のまとめ

からたちの花と同じ読み方の漢字

□ 94~166

名前

組 番

標準  
実加時間  
20分

漢字

到達目標点

80/100

漢字を書きましょう。——線の言葉は、漢字と送り仮名で書きましょう。

各点

① 酸<sup>さん</sup>  
性雨。

② 個<sup>こ</sup>  
人的。

③ 複<sup>ざつ</sup>  
雑<sup>な</sup>形。

④ 技<sup>ぎ</sup>  
術。

⑤ 旧<sup>きゆう</sup>  
式の車。

⑥ 犯<sup>はん</sup>  
人。

⑦ 文<sup>く</sup>  
句。

⑧ 逮<sup>とく</sup>  
徳。

⑨ 無<sup>ざい</sup>  
罪。

⑩ 米<sup>だわら</sup>  
俵。

⑪ 往<sup>おう</sup>  
復する。

⑫ 敵<sup>てき</sup>  
と戦う。

⑬ 感<sup>しゃ</sup>  
謝<sup>する</sup>。

⑭ 桜の花<sup>べん</sup>  
弁。

⑮ 省<sup>りやく</sup>  
略<sup>する</sup>。

⑯ 武<sup>む</sup>  
者人形。

⑰ 衛<sup>えい</sup>  
星放送。

⑱ 証<sup>しょう</sup>  
明する。

⑲ 防<sup>ぼう</sup>  
止する。

⑳ 規<sup>き</sup>  
則。

㉑ 体<sup>そく</sup>  
重<sup>測定</sup>。

㉒ 毛<sup>ふ</sup>  
布。

㉓ 豊<sup>ふ</sup>  
富<sup>な</sup>水。

㉔ 銭<sup>せん</sup>  
湯。

㉕ 適<sup>てき</sup>  
切。

㉖ よい<sup>せき</sup>  
成績。

㉗ 大<sup>りよう</sup>  
統<sup>領</sup>。

㉘ 国<sup>きよう</sup>  
境<sup>の町</sup>。

㉙ 退<sup>たい</sup>  
院する。

㉚ 本<sup>ばん</sup>  
の出<sup>版</sup>。

㉛ 講<sup>えん</sup>  
演<sup>会</sup>。

㉜ 平<sup>きん</sup>  
均<sup>気温</sup>。

㉝ 快<sup>かい</sup>  
晴<sup>の空</sup>。

㉞ 主<sup>ちよう</sup>  
張<sup>する</sup>。

㉟ 提<sup>てい</sup>  
案<sup>する</sup>。

㊱ 制<sup>せい</sup>  
限<sup>する</sup>。

㊲ 減<sup>けん</sup>  
少<sup>する</sup>。

㊳ 導<sup>どう</sup>  
入<sup>する</sup>。

㊴ 文<sup>ざい</sup>  
化<sup>財</sup>。

㊵ 損<sup>けん</sup>  
害<sup>保</sup>險。

㊶ (久<sup>しい</sup>)  
別<sup>て</sup>て<sup>ひさしい</sup>。

㊷ (示<sup>す</sup>)  
記<sup>号</sup>て<sup>しめ</sup>す。

㊸ (志<sup>す</sup>)  
こ<sup>ころ</sup>が<sup>す</sup>。

㊹ (増<sup>える</sup>)  
人<sup>数</sup>が<sup>ふ</sup>える。

㊺ (過<sup>こ</sup>す)  
楽<sup>しく</sup>す<sup>こ</sup>す。

㊻ (営<sup>む</sup>)  
店<sup>を</sup>い<sup>とな</sup>む。

㊼ (厚<sup>い</sup>)  
分<sup>あ</sup>つ<sup>い</sup>本。

㊽ (率<sup>いる</sup>)  
群<sup>れ</sup>を<sup>ひ</sup>き<sup>い</sup>る。

㊾ (貸<sup>す</sup>)  
か<sup>さ</sup>を<sup>か</sup>す。

㊿ (寄<sup>せる</sup>)  
期<sup>待</sup>を<sup>よ</sup>せ<sup>る</sup>。

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		読み	学年末 名前
読	破る	読	貧ほう	読	政治家	読	正義	読	余る	読	教師	読	忘す	読	成績	読	暴れる	読	炭酸		
	かぶ(る)		びんぼう		せいじか		せいぎ		あま(る)		きようし		ころ(す)		せいせき		あばれ(る)		たんさん	読み	学年末 名前
⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		読み	学年末 名前
読	事務所	読	耕す	読	サーカス団	読	税金	読	墓参り	読	ねこ舌	読	綿あめ	読	手招き	読	評価	読	条件		
	じむしょ		たがや(す)		サーカス(だん)		せいぎん		はかまい(り)		ねこ(した)		わた(あめ)		てまね(き)		ひようか		じようけん	読み	学年末 名前

各2点

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		(例)	西大和学園補習校五年 国語2学年末テスト(作文) 名前	
禁	キン	桜	さくら	迷	まよう	燃	ネン、もえる	夢	ム、ゆめ	枝	えだ	移	イ、うつる	比	ヒ、くらべる	似	にる	飼	シ、かう	慣		カン、なれる
	この建物は立ち入り禁止した。		桜もちを作る。		道に迷った。		木の葉を集めて燃やす。		夢のような出来事。		小鳥が枝から枝へ飛び移る。		おいしそうな料理に目移りする。		父と兄の身長を比べる。		父にとってもよく似合う。		大きな犬を飼っている。		新しいクラスに慣れる。	各1点

次の漢字を使って、文を一つ作りましょう。

各1点



1 算数ジャマイカ(+ - × ÷を使って導こう)

①      =

②      =

2 次の語句の読み方を書きましょう。(教科書95～100ページ)

① 個

② 小麦粉

③ 必要


3 ケーキを1個作るのに、小麦粉を  $\frac{2}{11}$  kg使います。このケーキを4個作るのに、小麦粉を何kg使いますか。

4 1mの重さが  $\frac{5}{18}$  kgのホースがあります。このホース6mの重さは何kgですか。



5 1dLで、板を $\frac{3}{5}$  m<sup>2</sup>ぬれるペンキがあります。このペンキ3dLでは、板を何 m<sup>2</sup>ぬれますか。

6 5mの重さが $\frac{6}{7}$  kgのパイプがあります。このパイプ1mの重さは何kgですか。

7 3kgの米をたくのに、 $\frac{9}{2}$  Lの水を使います。

① 1kgの米をたくには、何Lの水が必要ですか。

② 6kgの米をたくには、何Lの水が必要ですか。

1.  $\frac{3}{10} \times 6 =$

2.  $\frac{8}{13} \div 2 =$

3.  $\frac{6}{13} \times 26 =$

4.  $\frac{3}{5} \div 12 =$

5.  $\frac{8}{11} \times 11 =$

6.  $\frac{2}{11} \times 11 =$

7.  $\frac{7}{10} \times 2 =$

8.  $\frac{5}{6} \times 3 =$

9.  $\frac{7}{8} \div 7 =$

10.  $\frac{7}{12} \div 7 =$

1.  $\frac{5}{12} \times 2 =$
2.  $\frac{4}{5} \div 4 =$
3.  $\frac{6}{13} \times 26 =$
4.  $\frac{3}{7} \div 3 =$
5.  $\frac{2}{7} \div 6 =$
6.  $\frac{5}{6} \times 3 =$
7.  $\frac{6}{7} \times 14 =$
8.  $\frac{10}{11} \div 5 =$
9.  $\frac{5}{11} \div 5 =$
10.  $\frac{2}{5} \times 5 =$

1.  $\frac{3}{7} \div 12 =$
2.  $\frac{2}{13} \times 26 =$
3.  $\frac{7}{12} \div 7 =$
4.  $\frac{9}{11} \times 11 =$
5.  $\frac{5}{11} \times 22 =$
6.  $\frac{5}{9} \times 12 =$
7.  $\frac{8}{13} \div 2 =$
8.  $\frac{3}{8} \times 2 =$
9.  $\frac{2}{5} \div 6 =$
10.  $\frac{2}{11} \times 22 =$